

市内中小企業景況調査報告書

令和4年 1月～ 4月 実績

令和4年 5月～ 8月 見通し

令和4年 5月

江別商工会議所

目 次

I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

I 調査要領

1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
 - ・製造業 81企業
 - ・卸売業 50企業
 - ・小売業 67企業
 - ・サービス業 102企業
 - ・建設業 100企業

2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和4年4月14日
- ・調査票回答期限 令和4年5月10日

3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	40	49.4%
卸売業	50	24	48.0%
小売業	67	29	43.3%
サービス業	102	38	37.3%
建設業	100	47	47.0%
合計	400	178	44.5%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

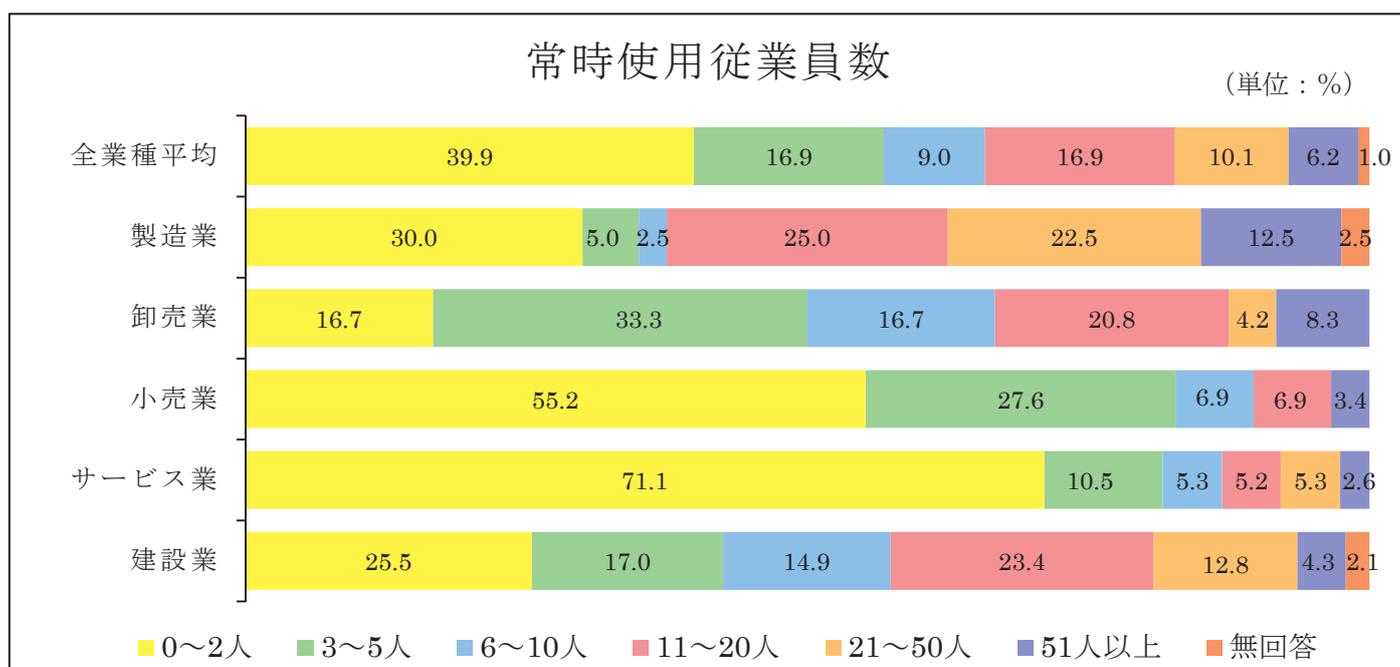
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和3年12月（令和3年9月～12月）を示し、「前年同期」とは、令和3年4月（令和3年1月～4月）を示す。

II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約82%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



2. 業 況

内閣府が発表した月例経済報告（令和4年4月発表）によると、個人消費はこのところ持ち直しの動きがみられるとされ、企業収益は新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善しているとなった。生産並びに設備投資は持ち直しの動きがみられるようになっており、雇用情勢は感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。倒産件数はおおむね横ばいとなっており、企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられるとされた。景気は感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されるが、ウクライナ情勢等による不透明感がみられる中で、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、供給面での制約等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和4年4月発表）によると、生産活動は「持ち直しの兆しがみられる」、個人消費は「持ち直しの動きに弱さがみられる」、民間設備投資は「増加している」、企業倒産については「件数は減少、負債総額は増加している」、公共工事は「増加している」、雇用動向は「弱い動きがみられる」との判断が継続されたが、住宅建設については「弱まっている」に下方修正された。有効求人倍率は1.02倍と前年同月比0.08ポイント上昇し、9か月連続で

前年を上回った。

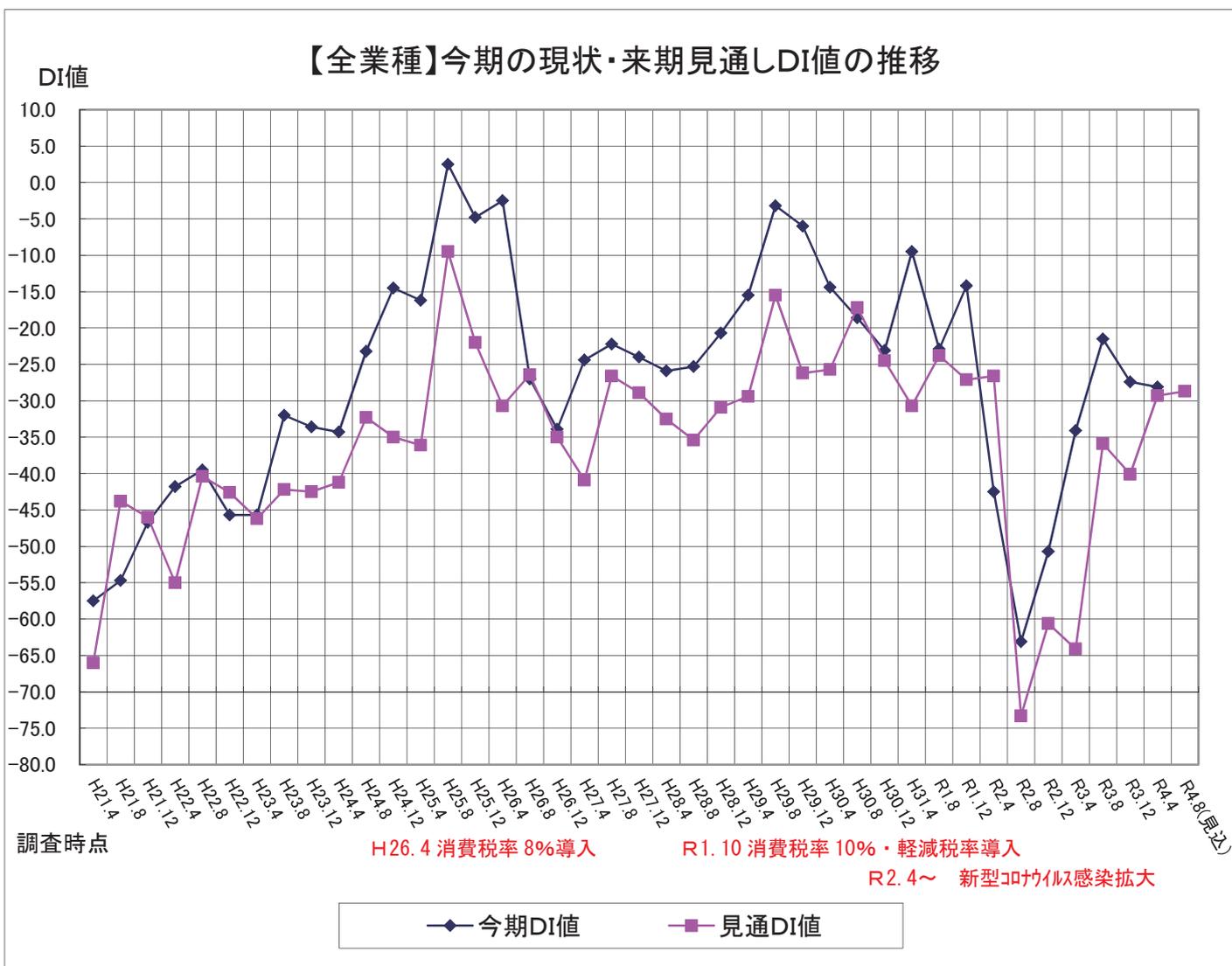
道内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きが弱まっている。先行きについては、感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和4年1月～4月）では、全業種平均の今期業況DI値は△28.1と前回（令和3年12月期）△27.4に比べ0.7ポイントの悪化となった。業種別に見ると、サービス業では17.1ポイント、建設業で2.5ポイントの改善となったが、小売業では14.7ポイント、製造業で11.6ポイント、卸売業で9.7ポイントの悪化となっている。今期業況DI値を前年同期（令和3年4月期）の調査結果と比較すると建設業で27.7ポイント、サービス業で20.3ポイント、製造業で3.2ポイントの改善となったが、小売業で41.5ポイント、卸売業で3.9ポイント悪化している。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると小売業で27.7ポイント、卸売業で8.3ポイントの改善見通しとなったものの、建設業で14.8ポイント、サービス業で5.4ポイント、製造業で5.0ポイント悪化の見通しとなっている。景況の先行きについては総じて感染症の影響により厳しい状況にあり持ち直しの動きが弱まっているが、一部業種では持ち直しの動きもみられる。

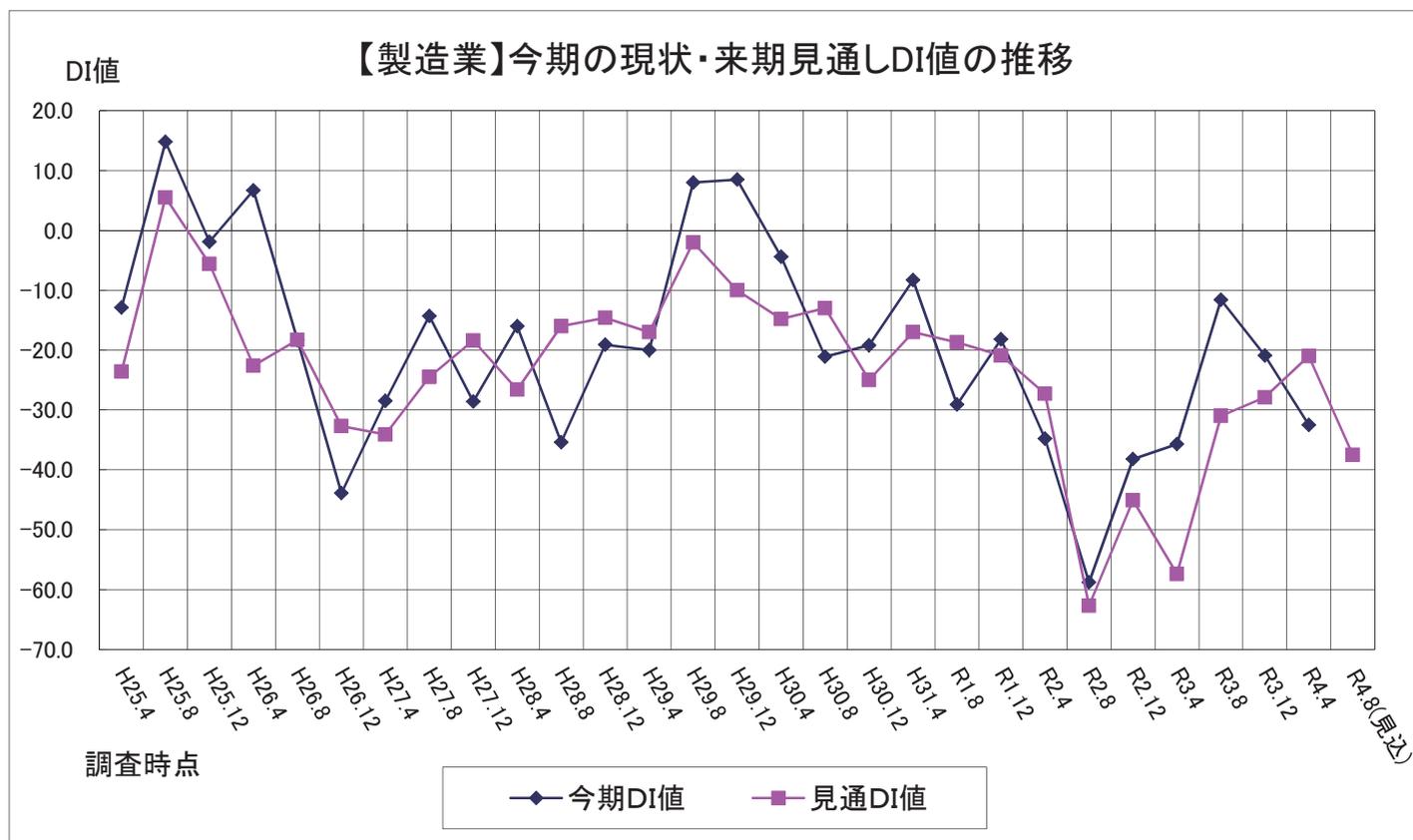
全業種平均

- ・今期DI値は△28.1となり、前回より0.7ポイント悪化、前年同期より6.0ポイント改善。
- ・来期DI値は△28.7となり、今期より0.6ポイント悪化。



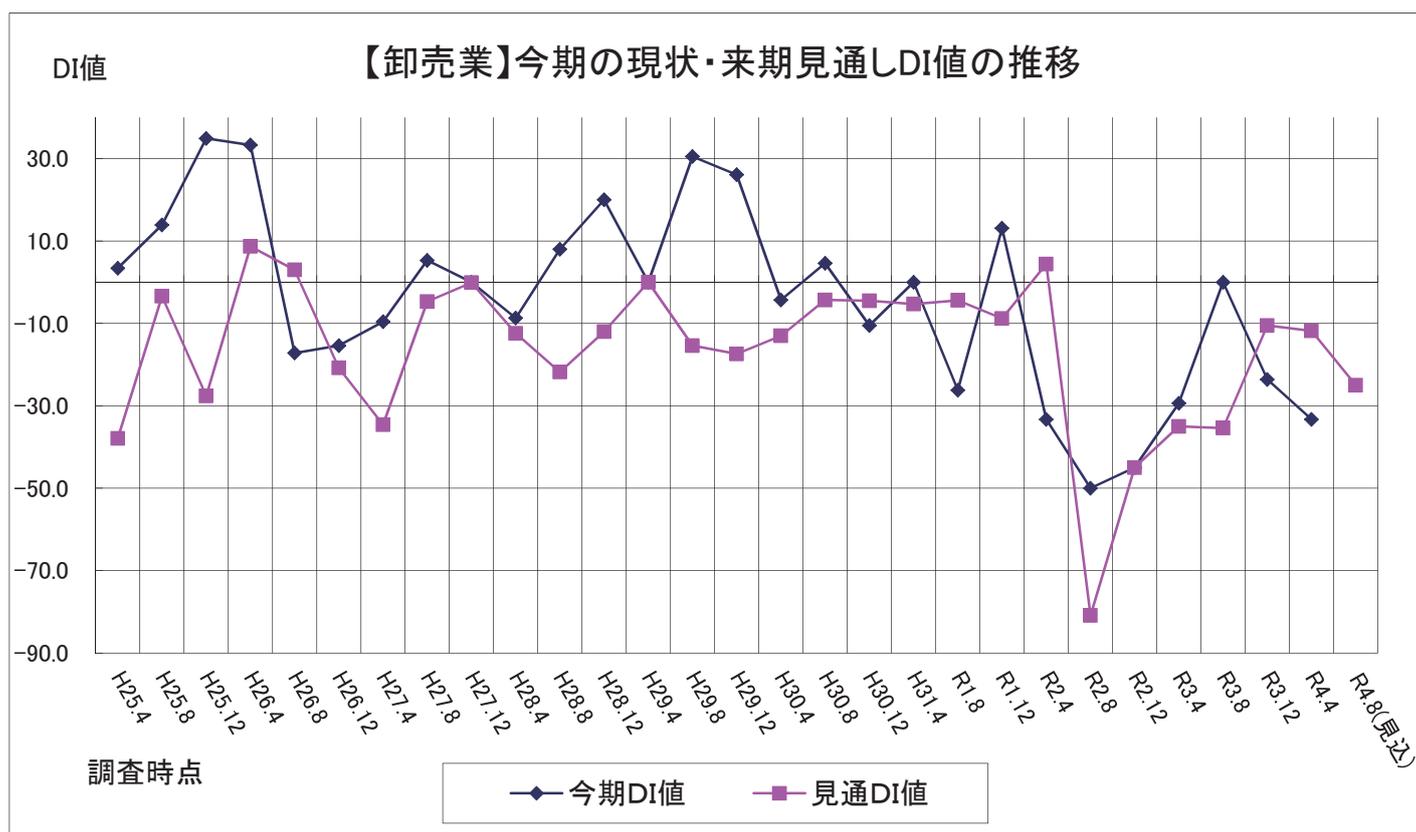
製造業

- ・今期D I値は△32.5となり、前回より11.6ポイント悪化、前年同期より3.2ポイント改善。
- ・来期D I値は△37.5となり、今期より5.0ポイント悪化。



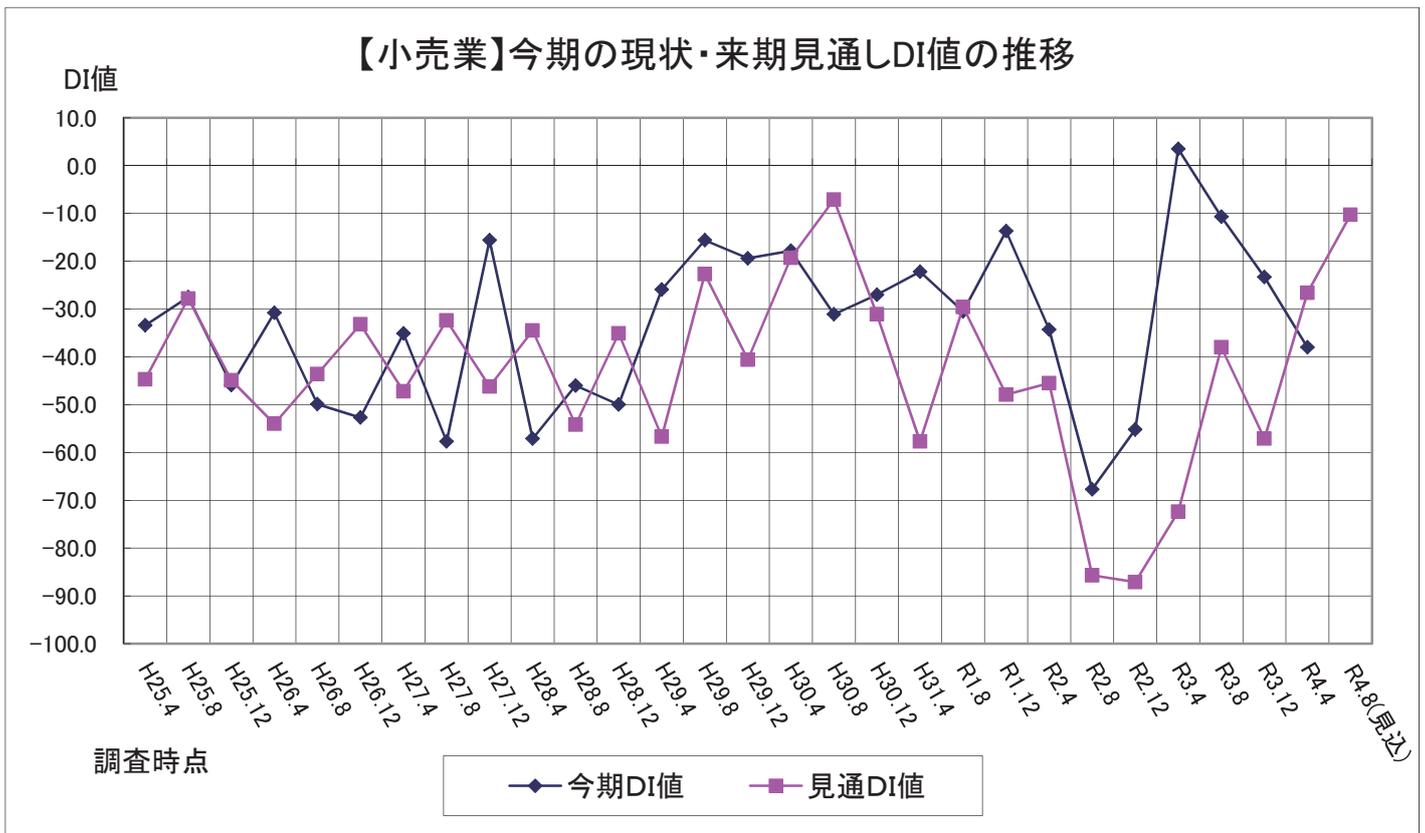
卸売業

- ・今期D I値は△33.3となり、前回より9.7ポイント、前年同期より3.9ポイント悪化。
- ・来期D I値は△25.0となり、今期より8.3ポイント改善。



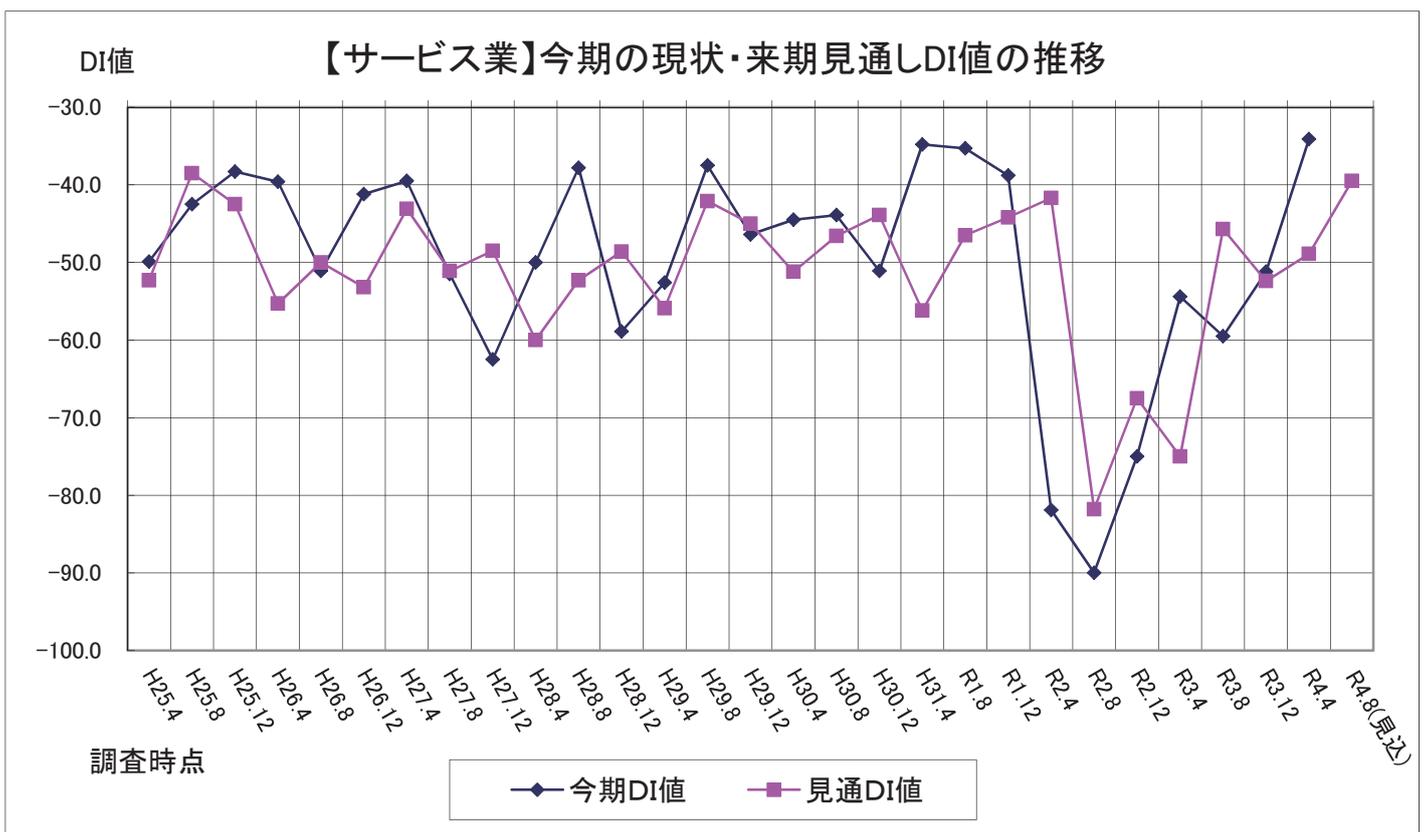
小 売 業

- ・今期D I 値は△38.0となり、前回より14.7ポイント、前年同期より41.5ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△10.3となり、今期より27.7ポイント改善。



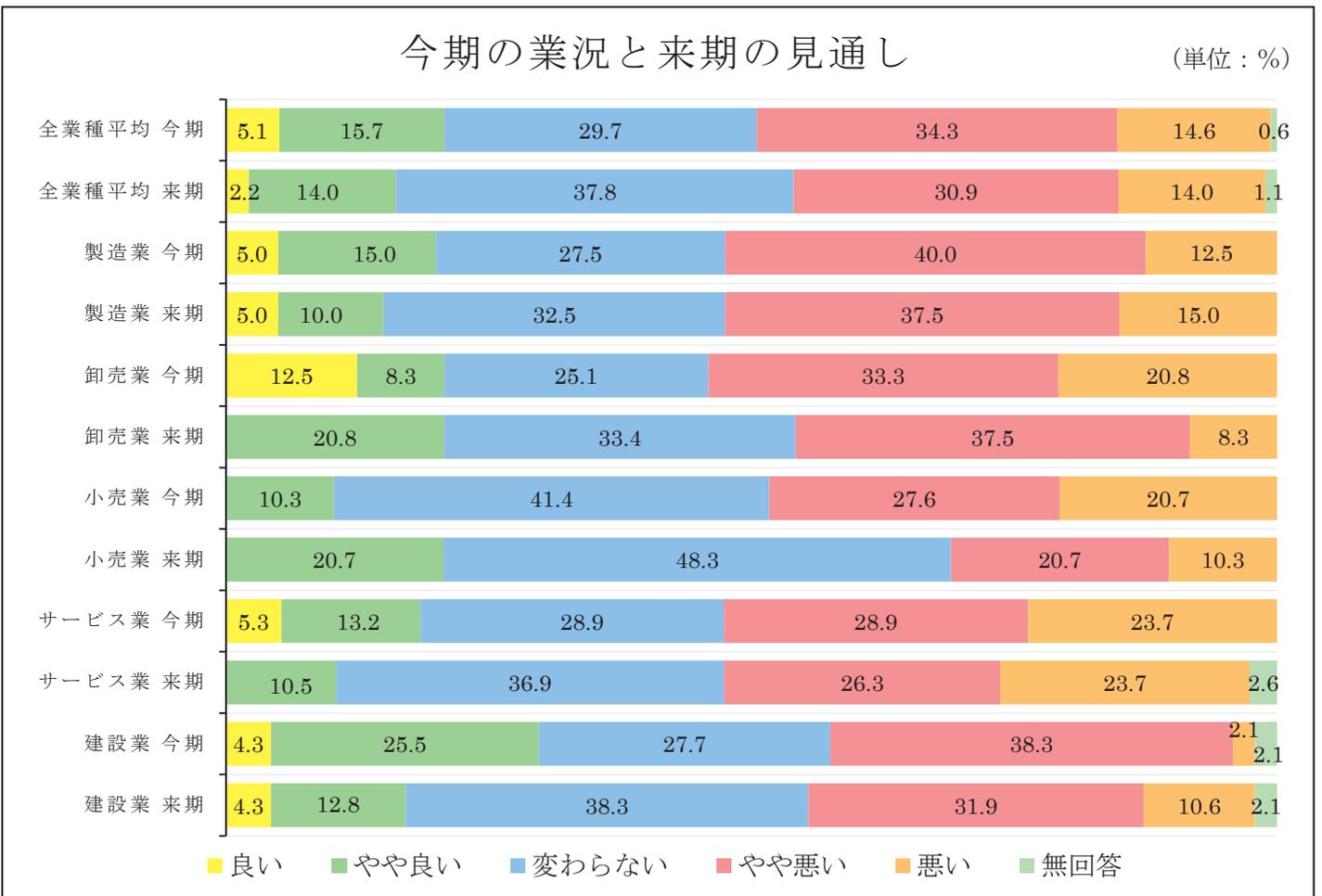
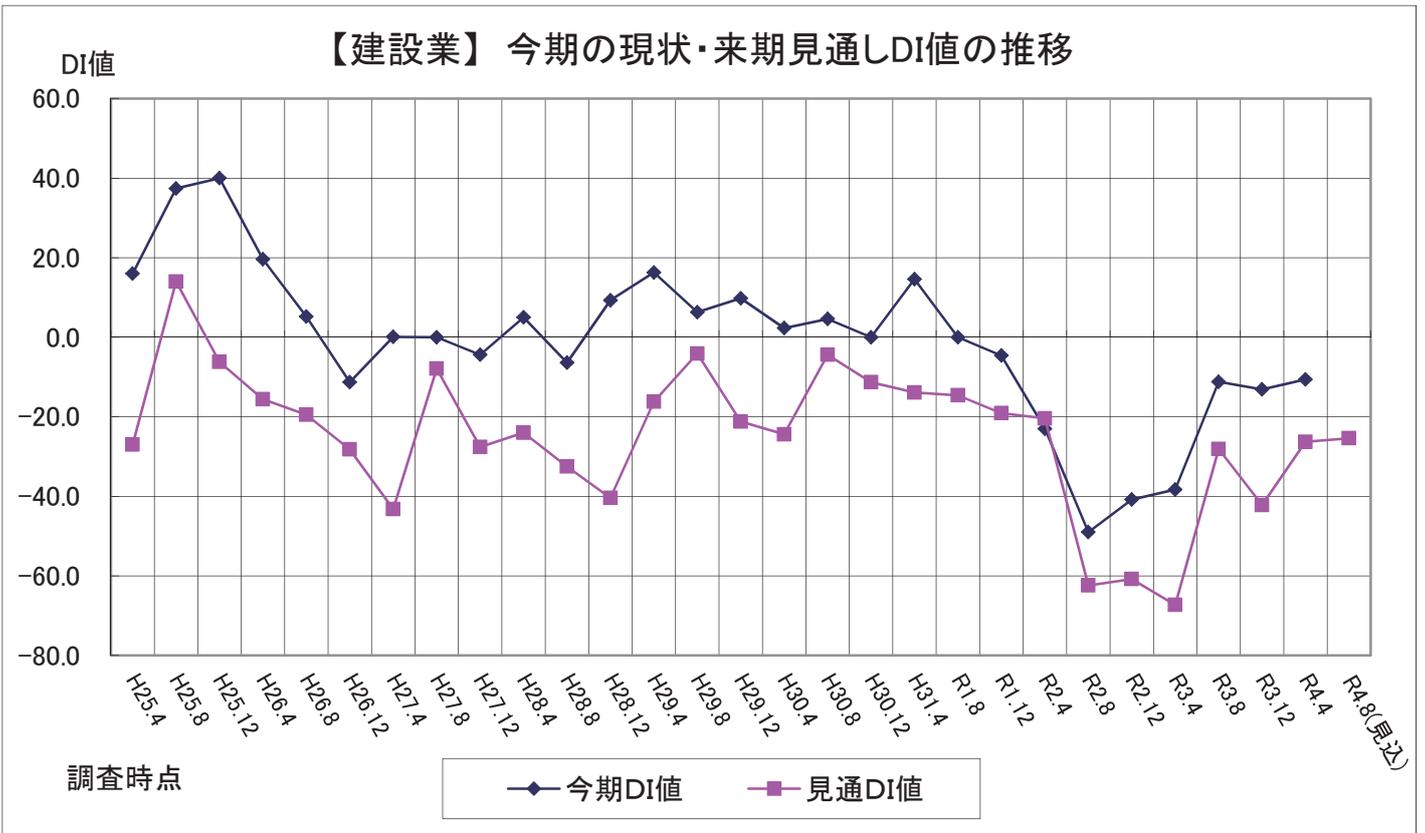
サービス業

- ・今期D I 値は△34.1となり、前回より17.1ポイント、前年同期より20.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△39.5となり、今期より5.4ポイント悪化。



建設業

- ・今期D I値は△10.6となり、前回より2.5ポイント、前年同期より27.7ポイント改善。
- ・来期D I値は△25.4となり、今期より14.8ポイント悪化。



3. 売上状況

全業種平均

- ・今期D I値は△24.2となり、前回より5.6ポイント、前年同期より7.6ポイント改善。
- ・来期D I値は△28.1となり、今期より3.9ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I値は△22.5となり、前回より5.5ポイント、前年同期より1.3ポイント改善。
- ・来期D I値は△25.0となり、今期より2.5ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I値は△16.7となり、前回より0.9ポイント、前年同期より12.7ポイント改善。
- ・来期D I値は△16.7となり、今期と同水準。

小売業

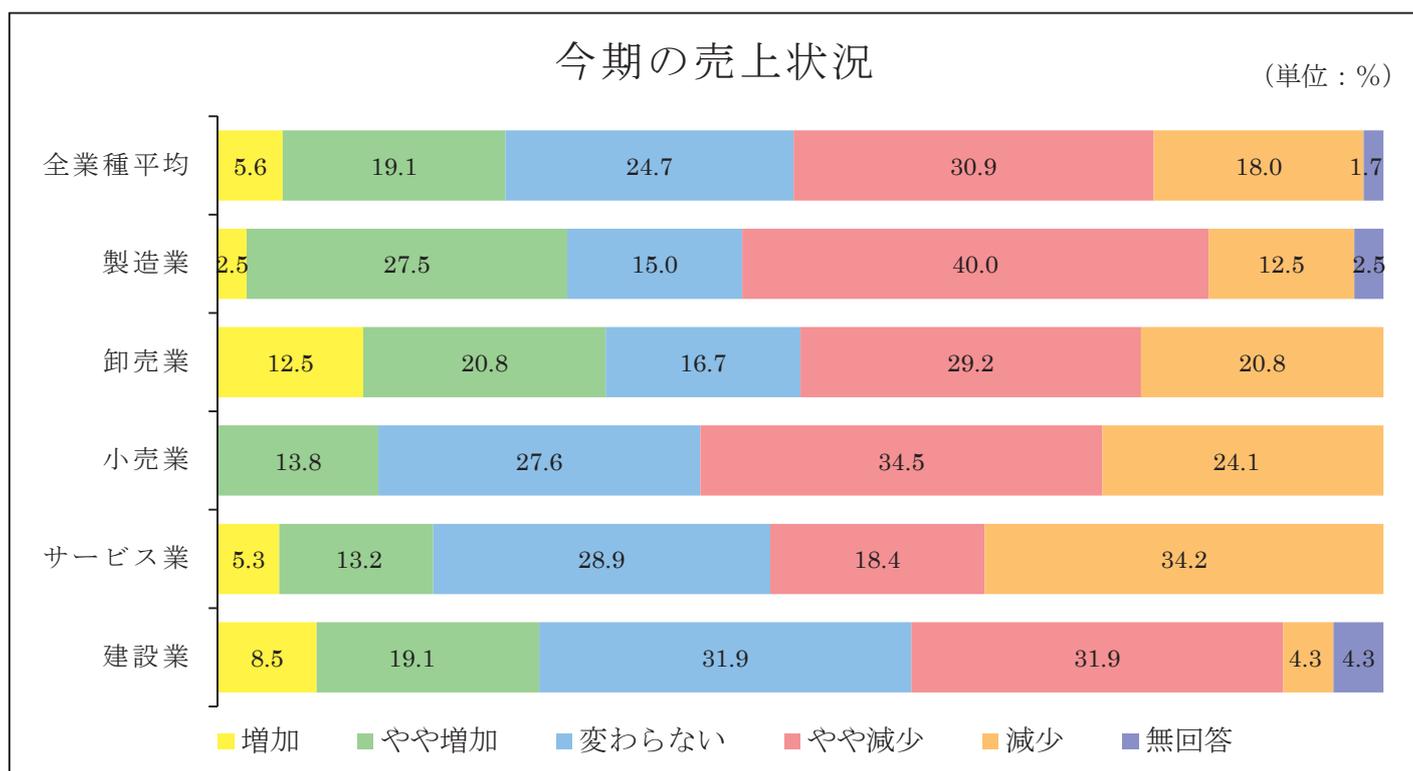
- ・今期D I値は△44.8となり、前回より24.8ポイント、前年同期より48.3ポイント悪化。
- ・来期D I値は△20.7となり、今期より24.1ポイント改善。

サービス業

- ・今期D I値は△34.1となり、前回より14.7ポイント、前年同期より26.9ポイント改善。
- ・来期D I値は△47.3となり、今期より13.2ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I値は△8.6となり、前回より15.0ポイント、前年同期より24.7ポイント改善。
- ・来期D I値は△25.5となり、今期より16.9ポイント悪化。



4. 利益状況

全業種平均

- ・今期D I値は△41.0となり、前回より7.1ポイント、前年同期より12.5ポイント悪化。
- ・来期D I値は△36.5となり、今期より4.5ポイント改善。

製造業

- ・今期D I値は△42.5となり、前回より12.2ポイント、前年同期より21.1ポイント悪化。
- ・来期D I値は△47.5となり、今期より5.0ポイント悪化。

卸売業

- ・今期D I値は△20.8となり、前回より2.6ポイント改善、前年同期より3.2ポイント悪化。
- ・来期D I値は△12.5となり、今期から8.3ポイント改善。

小売業

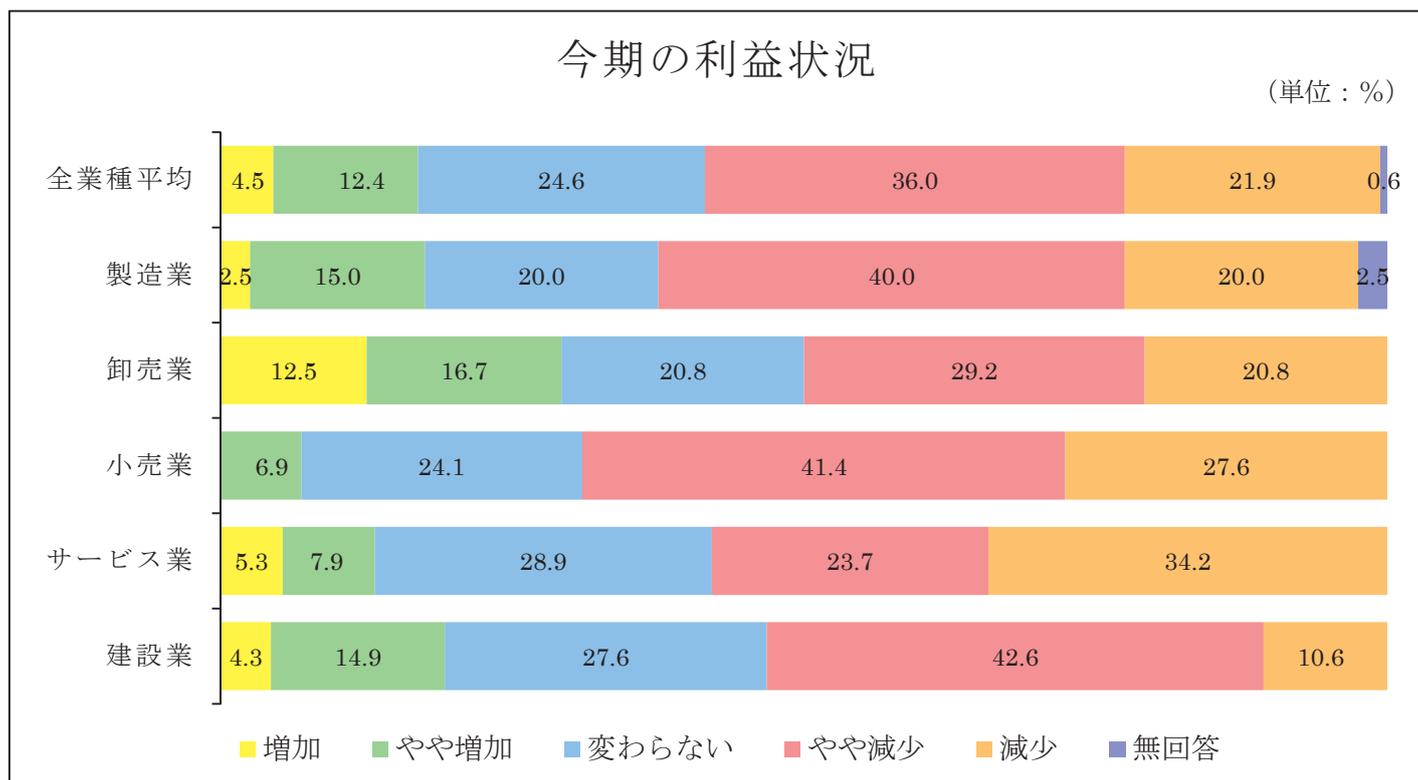
- ・今期D I値は△62.1となり、前回より42.1ポイント、前年同期より69.0ポイント悪化。
- ・来期D I値は△27.6となり、今期から34.5ポイント改善。

サービス業

- ・今期D I値は△44.7となり、前回より15.8ポイント、前年同期より8.6ポイント改善。
- ・来期D I値は△57.9となり、今期より13.2ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I値は△34.0となり、前回より10.3ポイント悪化、前年同期より4.4ポイント改善。
- ・来期D I値は△27.7となり、今期より6.3ポイント改善。



5. 資金繰り状況

全業種平均

- ・今期D I値は△18.5となり、前回より8.6ポイント、前年同期より4.1ポイント悪化。
- ・来期D I値は△23.5となり、今期より5.0ポイント悪化。

製造業

- ・今期D I値は△22.5となり、前回より22.4ポイント、前年同期より15.3ポイント悪化。
- ・来期D I値は△22.5となり、今期と同水準。

卸売業

- ・今期D I値は0.0となり、前回より5.9ポイント、前年同期より5.8ポイント改善。
- ・来期D I値は△8.3となり、今期より8.3ポイント悪化。

小売業

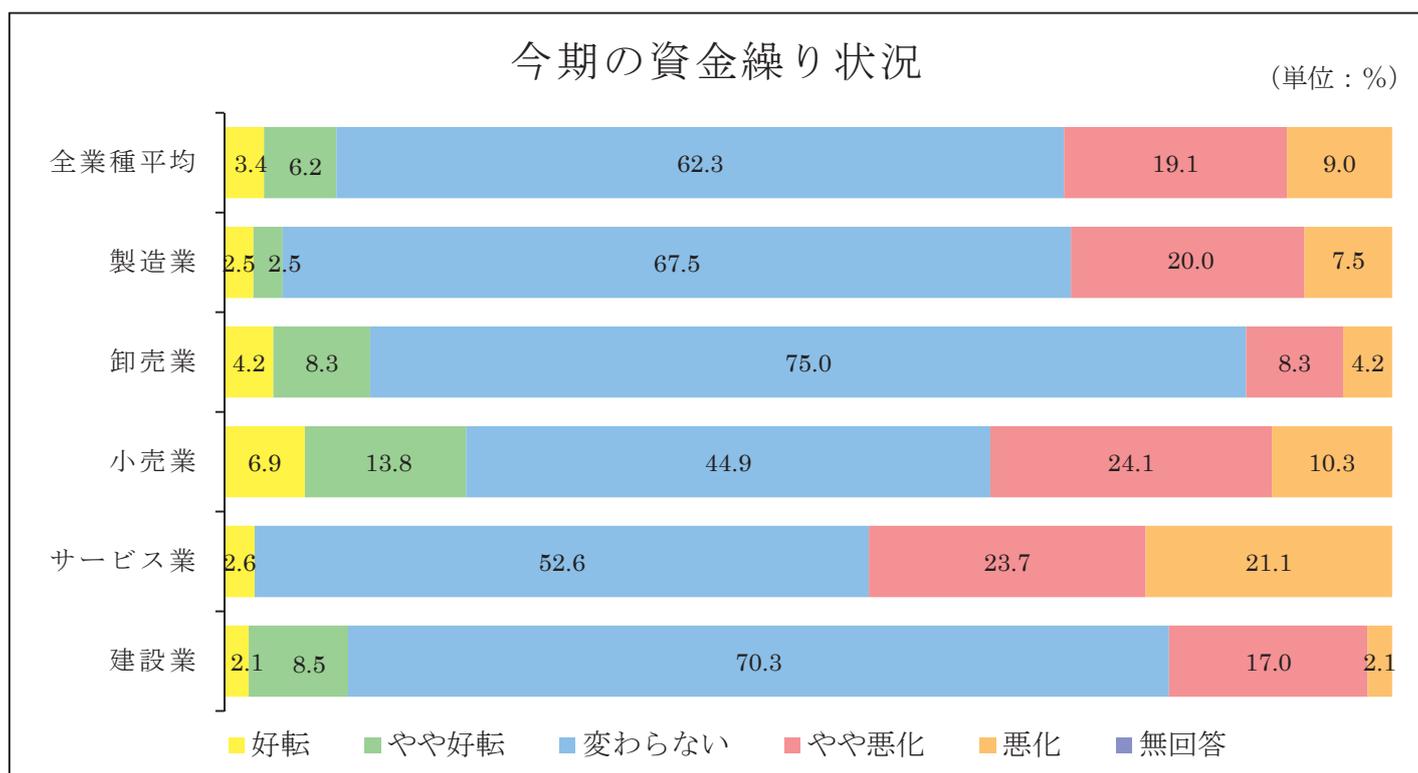
- ・今期D I値は△13.7となり、前回より3.8ポイント、前年同期より10.2ポイント悪化。
- ・来期D I値は△27.6となり、今期より13.9ポイント悪化。

サービス業

- ・今期D I値は△42.2となり、前回より11.9ポイント、前年同期より0.9ポイント悪化。
- ・来期D I値は△47.3となり、今期より5.1ポイント悪化。

建設業

- ・今期D I値は△8.5となり、前回より8.6ポイント、前年同期より6.0ポイント悪化。
- ・来期D I値は△10.7となり、今期より2.2ポイント悪化。



6. 設備投資状況

全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は24.9%となり、前回より8.6%減少、前年同期より2.9%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は21.3%となり、今期より3.6%減少。

製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は35.0%となり、前回より19.8%、前年同期より3.1%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は32.5%となり、今期より2.5%減少。

卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は13.0%となり、前回より4.6%減少、前年同期より13.0%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は20.8%となり、今期より7.8%増加。

小売業

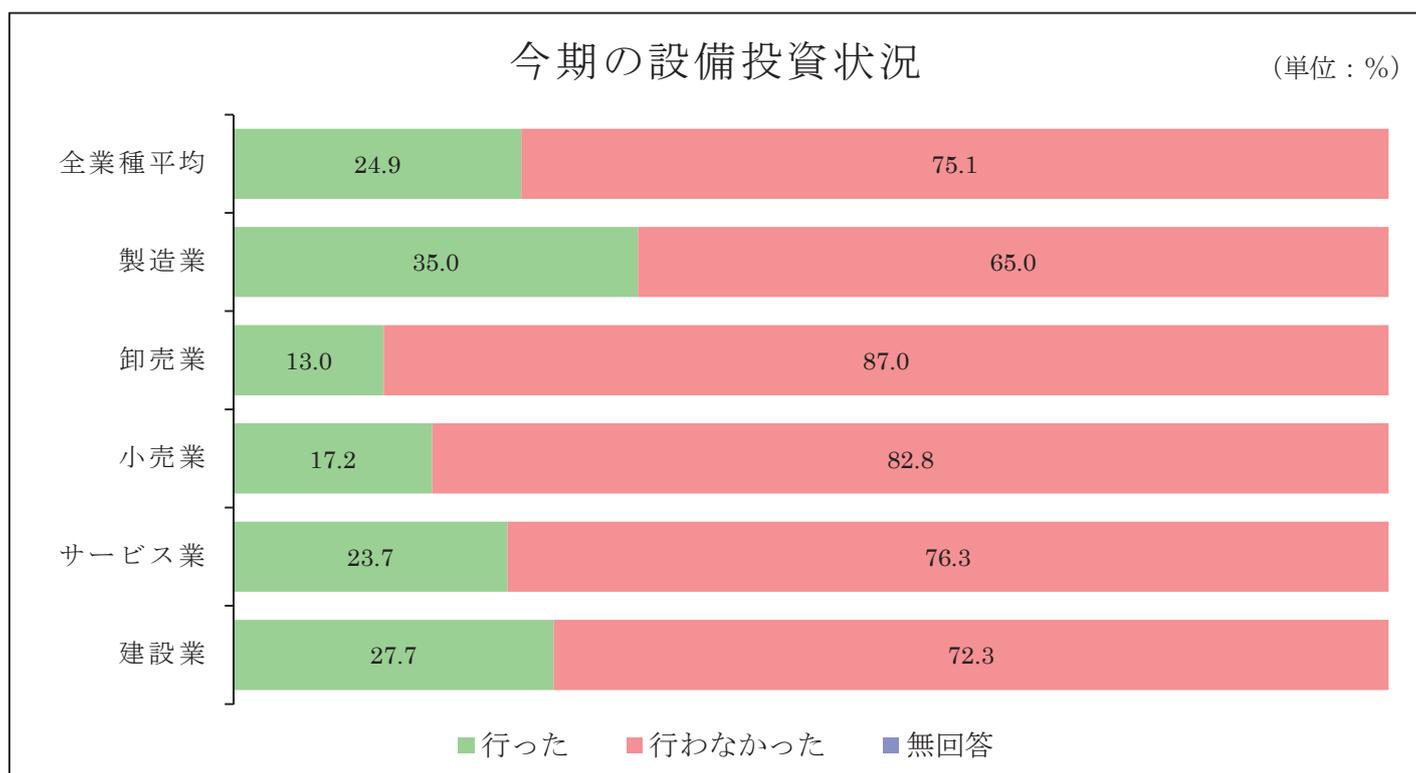
- ・今期に設備投資を行った割合は17.2%となり、前回より6.1%減少、前年同期と同水準。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は13.8%となり、今期より3.4%減少。

サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は23.7%となり、前回より1.9%減少、前年同期より4.1%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は18.4%となり、今期より5.3%減少。

建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は27.7%となり、前回より6.5%減少、前年同期より7.2%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は19.1%となり、今期より8.6%減少。



7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

全業種平均

- ・今期D I値は△43.4となり、前回より5.2ポイント、前年同期より9.9ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は26.4%となり、前回より1.1%減少。

製造業

- ・今期D I値は△47.0となり、前回より0.2ポイント不足感が減少、前年同期より13.6ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は35.0%となり、前回より4.5%減少。

卸売業

- ・今期D I値は△22.7となり、前回より10.6ポイント不足感が減少、前年同期より16.4ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は33.3%となり、前回より2.0%減少。

小売業

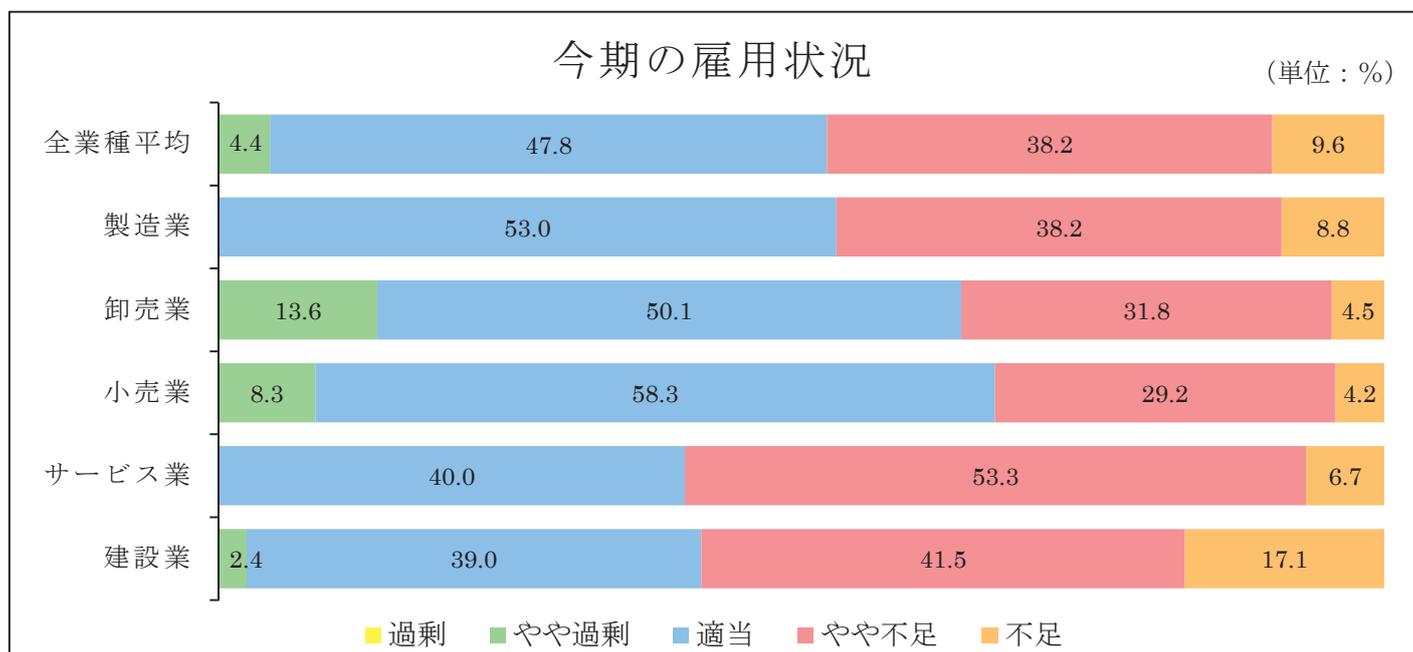
- ・今期D I値は△25.1となり、前回より2.9ポイント不足感が増加、前年同期より14.9ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は10.3%となり、前回より3.0%減少。

サービス業

- ・今期D I値は△60.0となり、前回より46.4ポイント、前年同期より46.4ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は13.2%となり、前回より3.1%減少。

建設業

- ・今期D I値は△56.2となり、前回より2.6ポイント、前年同期より0.1ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は36.2%となり、前回より2.0%増加。



8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

全業種平均

- ・「受け入れている」企業は4.5%となり、前回より0.2%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は4.5%となり、前回より2.1%増加。

製造業

- ・「受け入れている」企業は10.0%となり、前回より1.6%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は2.5%となり、前回より2.2%減少。

卸売業

- ・「受け入れている」企業は4.2%となり、前回より4.2%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は4.2%となり、前回より4.2%増加。

小売業

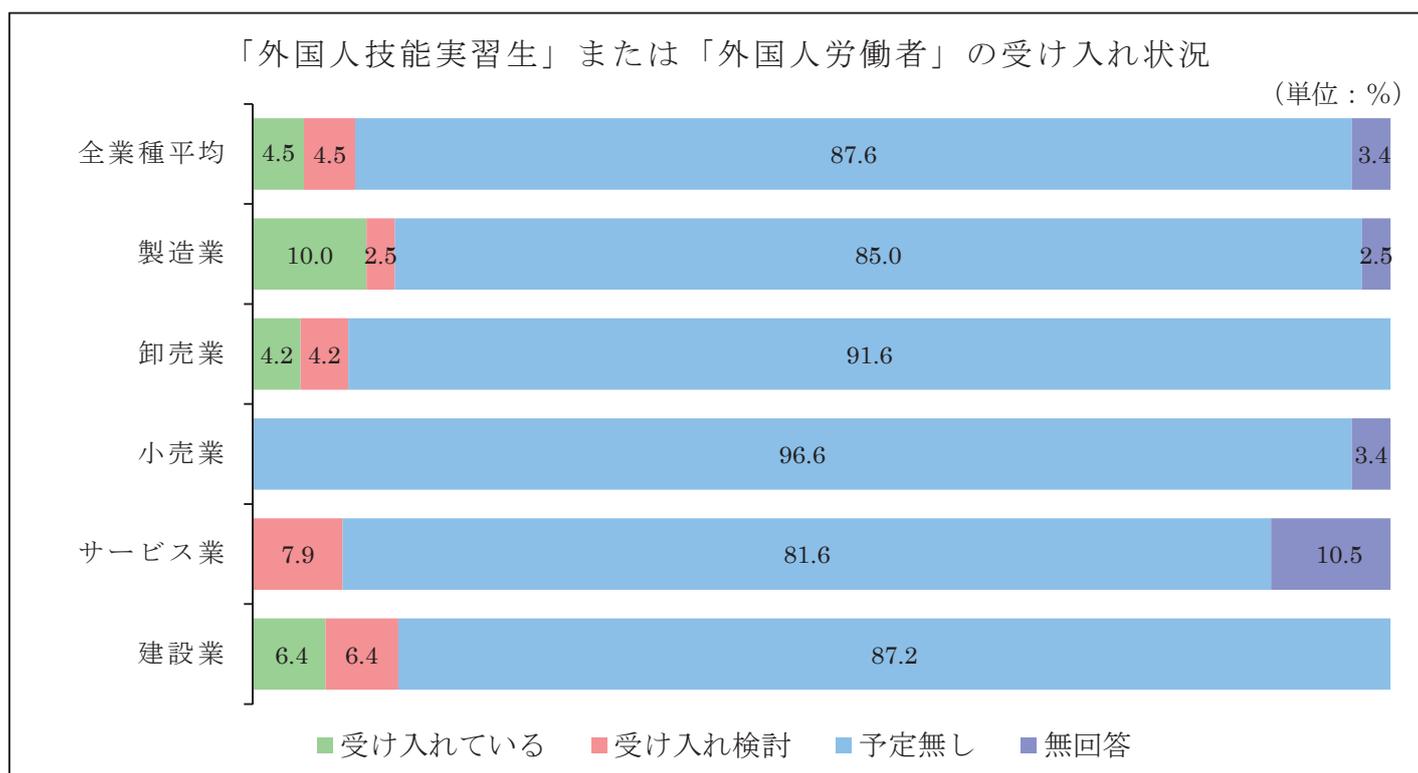
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業についても引き続き無し。

サービス業

- ・「受け入れている」企業は無しとなり、前回より2.4%減少
- ・今後「受け入れを検討」する企業は7.9%となり、前回より7.9%増加。

建設業

- ・「受け入れている」企業は6.4%となり、前回より1.1%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は6.4%となり、前回より1.1%増加。



9. 経営上の問題点

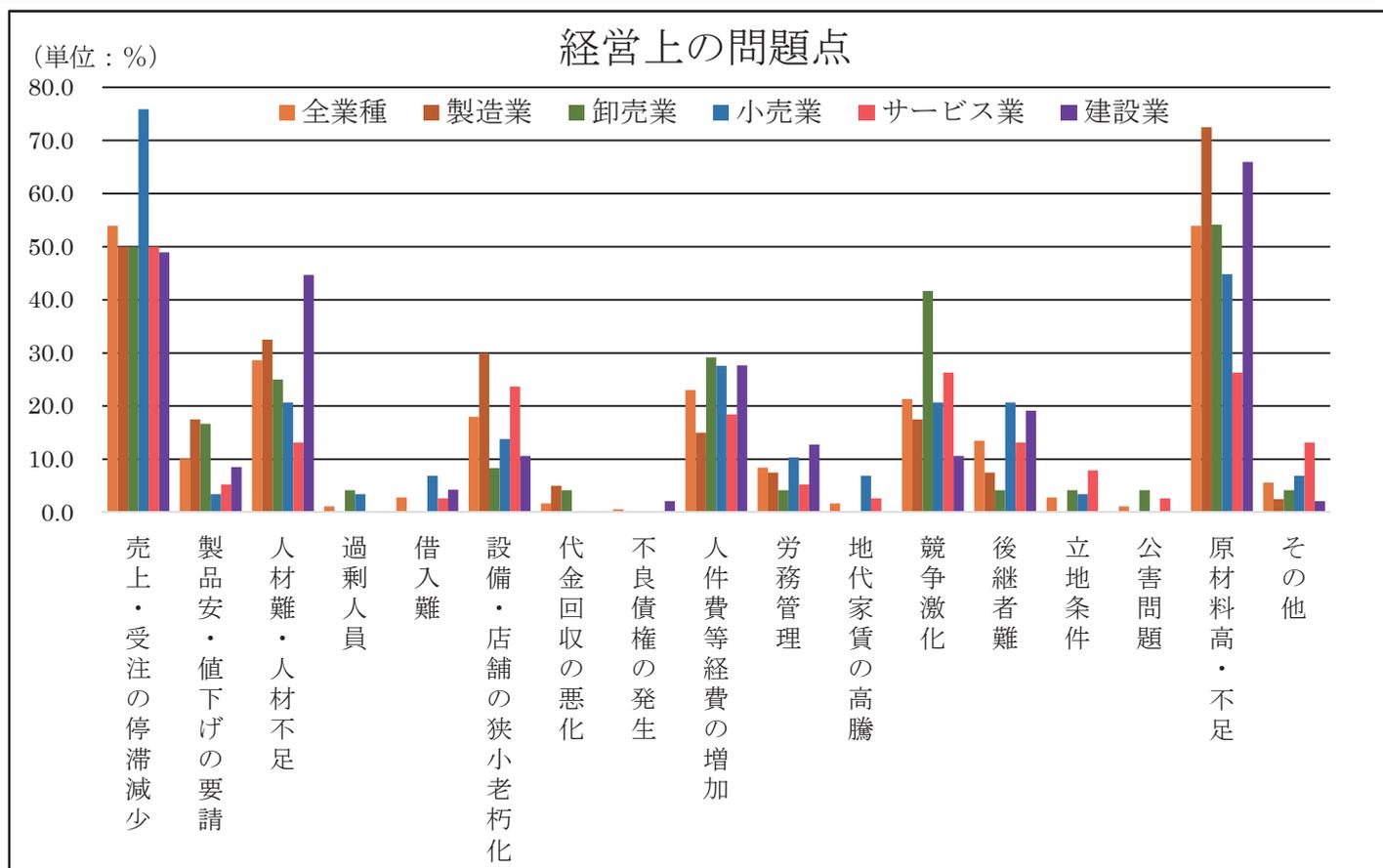
・全業種平均では「売上、受注の停滞減少」と「原材料高及び不足」が同じく53.9%と全体を通じて最も高く、次いで「人材難、人材不足」が28.7%、「人件費等経費の増加」が23.0%と高い割合となっている。

・「その他」の意見として、新型コロナウイルス感染症関連では「コロナ終息後の経営環境の不安、海外（特に中国）からの商品到着遅れ、コロナ禍による自粛の影響」といった声があった。

それ以外では「商材の値上げ（卸売業）」「これまでとは次元が違う原材料高が続きこの先の価格上昇が見通せない（小売業）」「材料や資材の不足（建設業）」といった問題に苦慮する声が聞かれた。

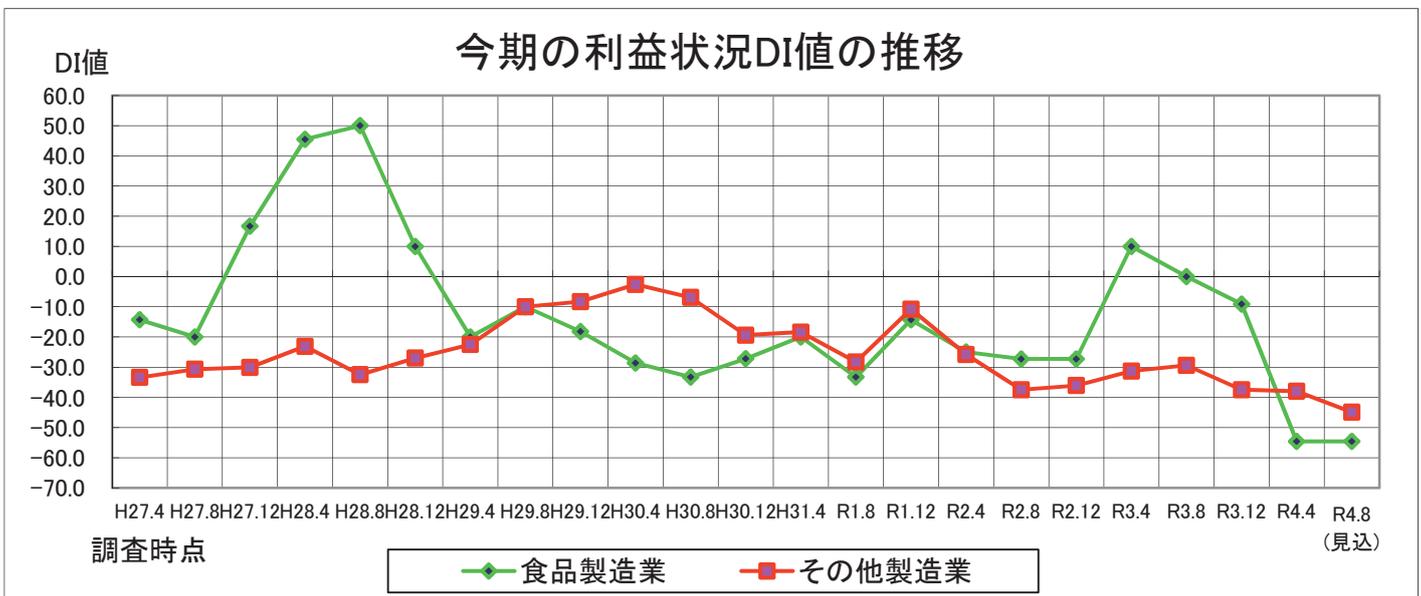
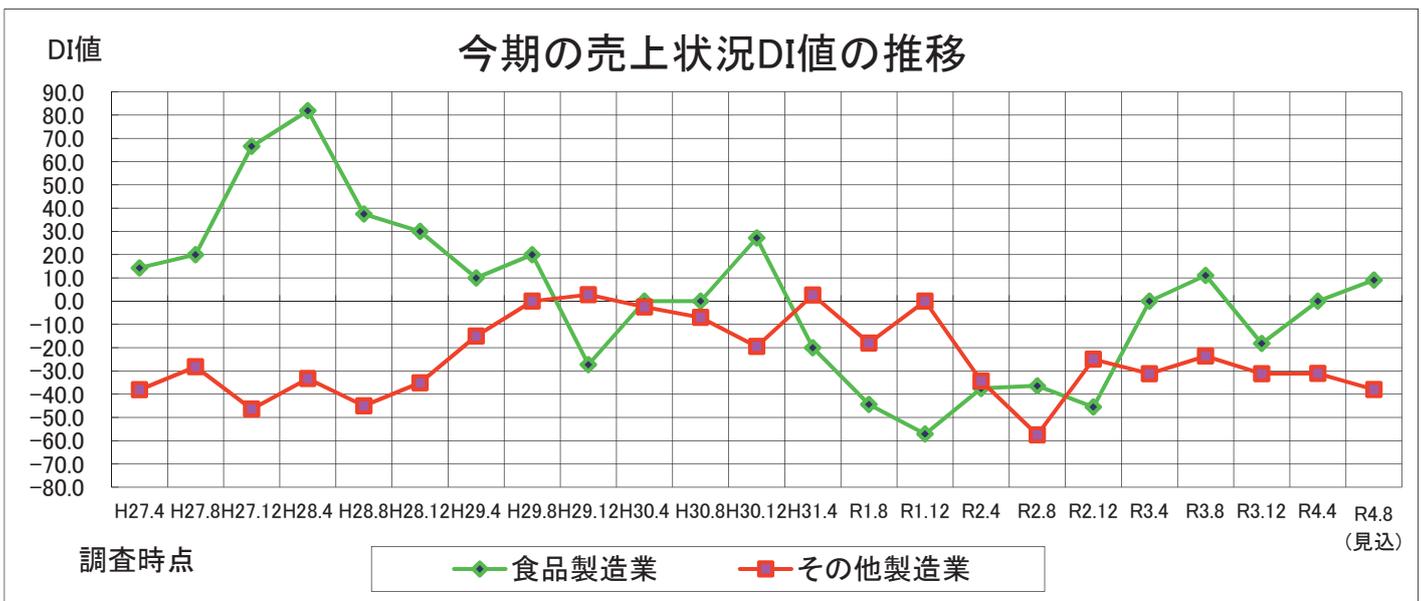
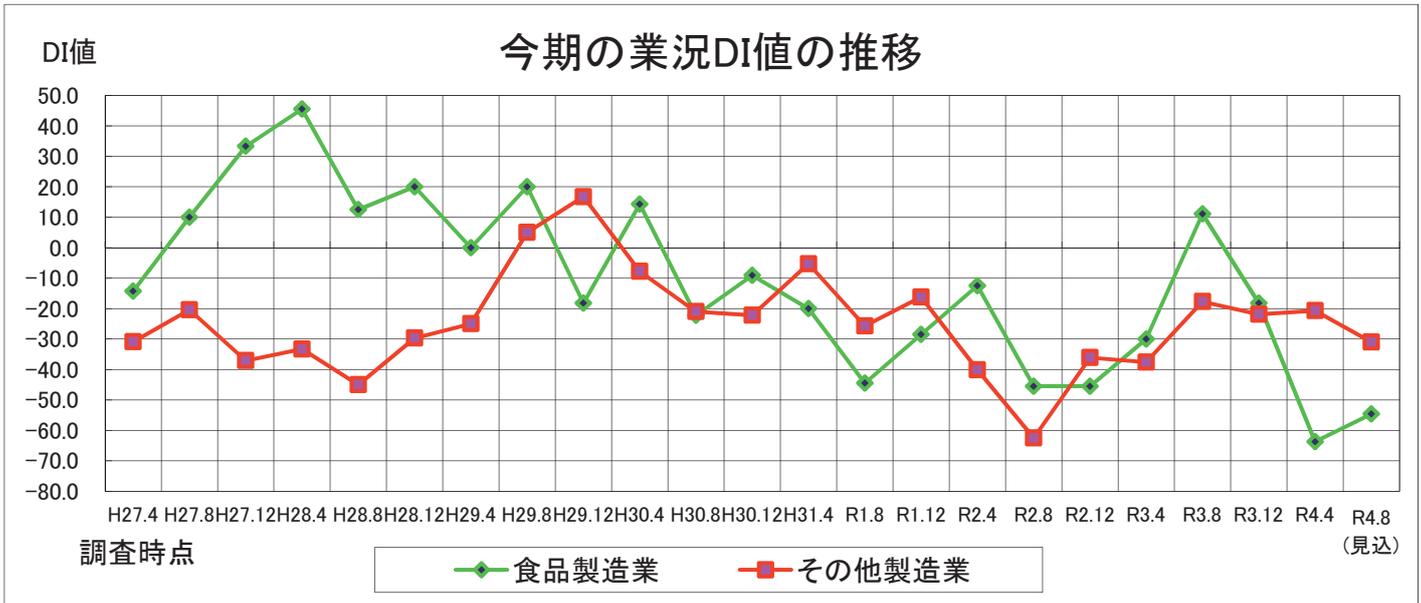
・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	原材料高及び不足 (72.5%)	売上・受注の停滞減少 (50.0%)	人材難・人材不足 (32.5%)
卸売業	原材料高及び不足 (54.2%)	売上・受注の停滞減少 (50.0%)	競争激化 (41.7%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (75.9%)	原材料高及び不足 (44.8%)	人件費等経費の増加 (27.6%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (50.0%)	競争激化 原材料高及び不足 (26.3%)	設備、店舗の狭小老朽化 (23.7%)
建設業	原材料高及び不足 (66.0%)	売上・受注の停滞減少 (48.9%)	人材難・人材不足 (44.7%)

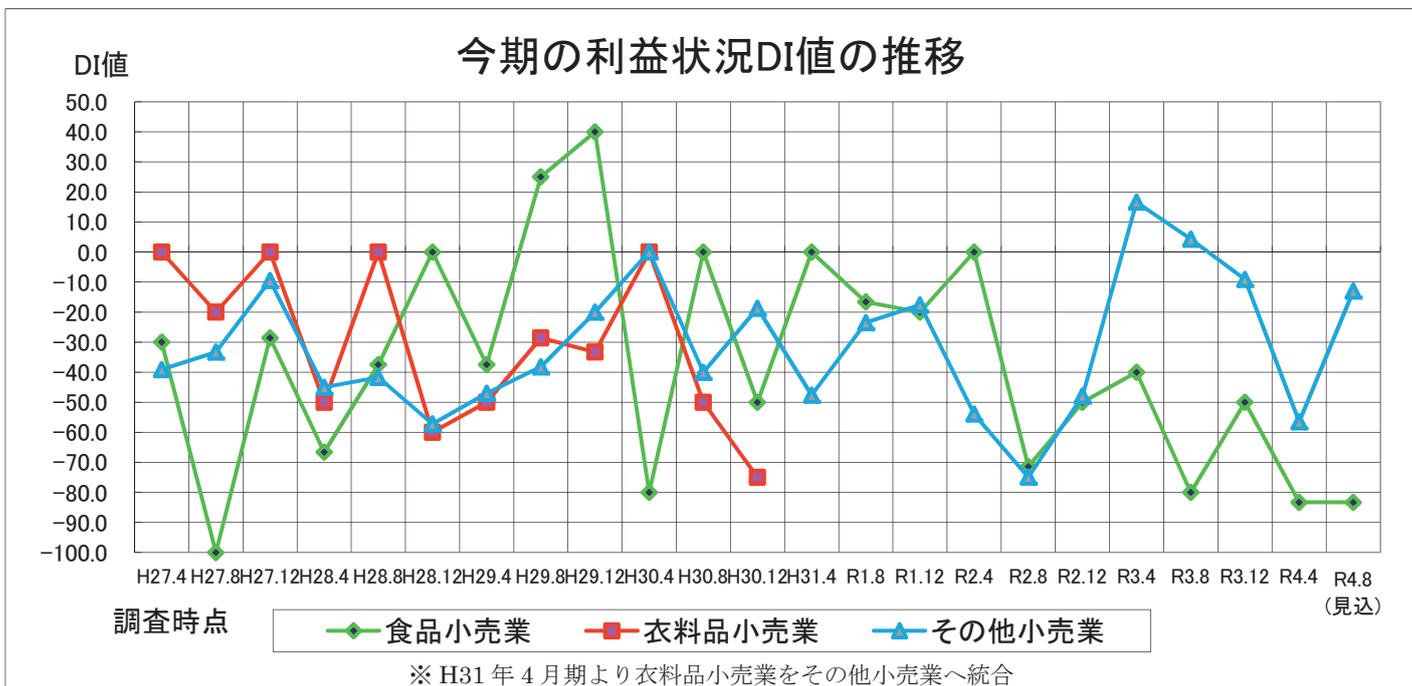
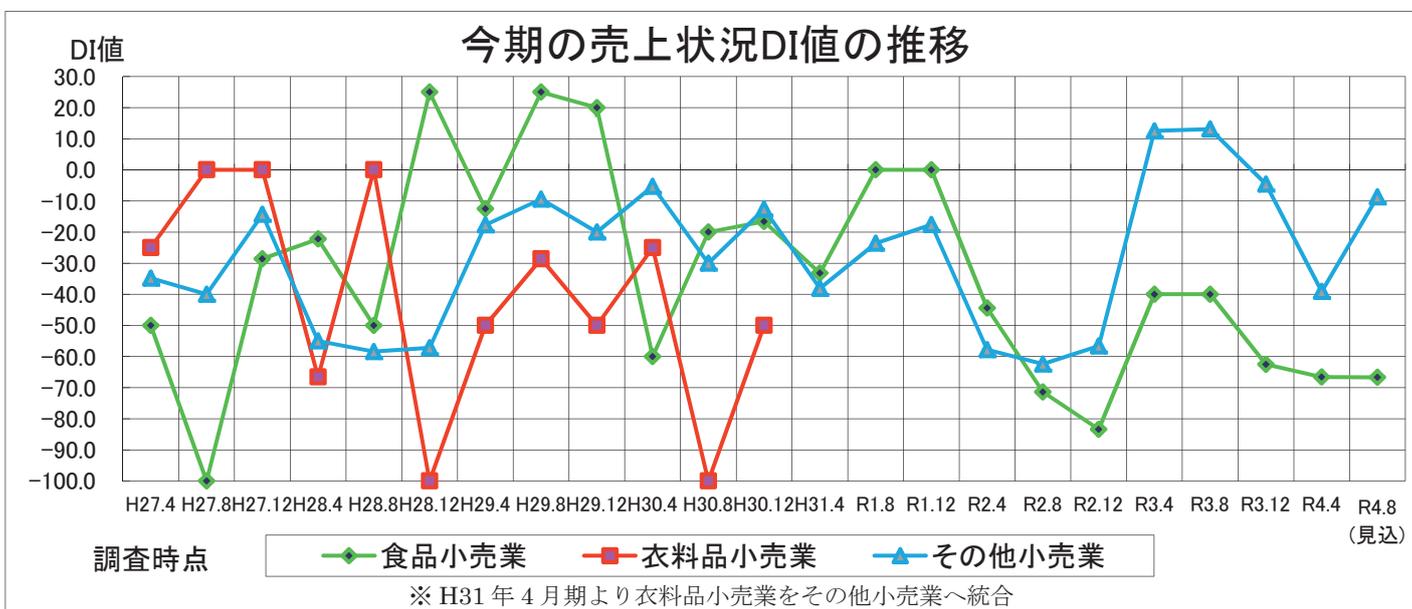
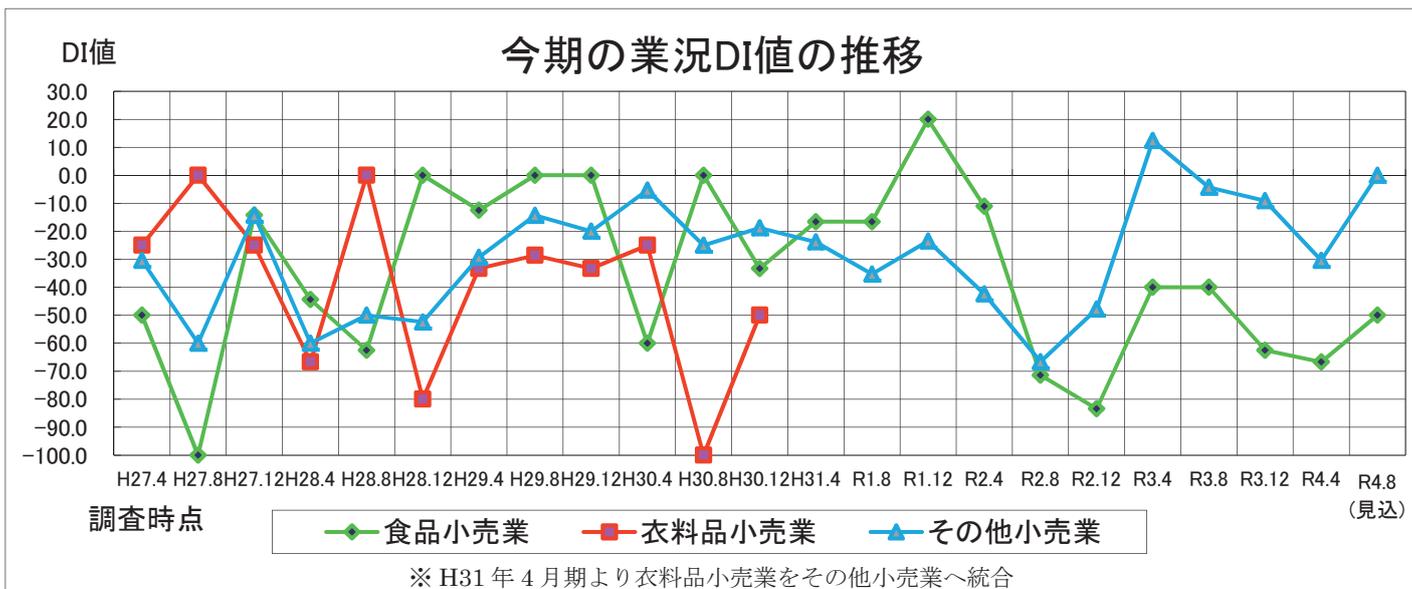


Ⅲ 業種別参考資料

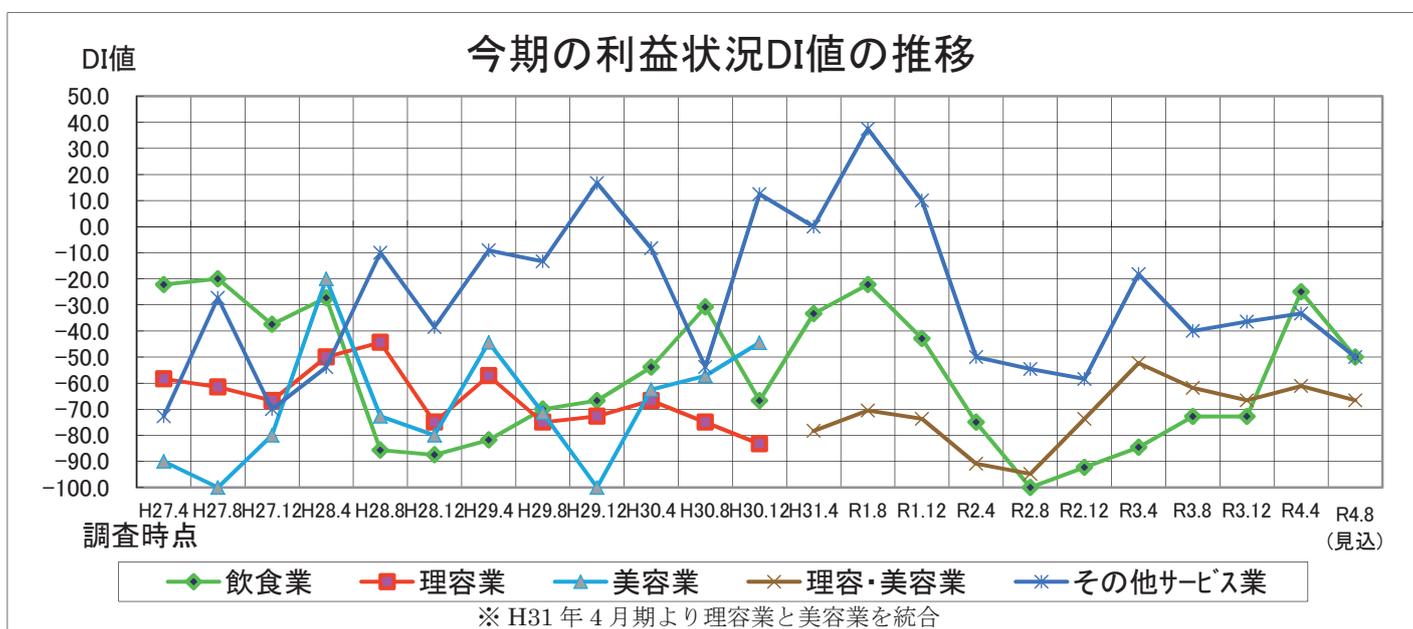
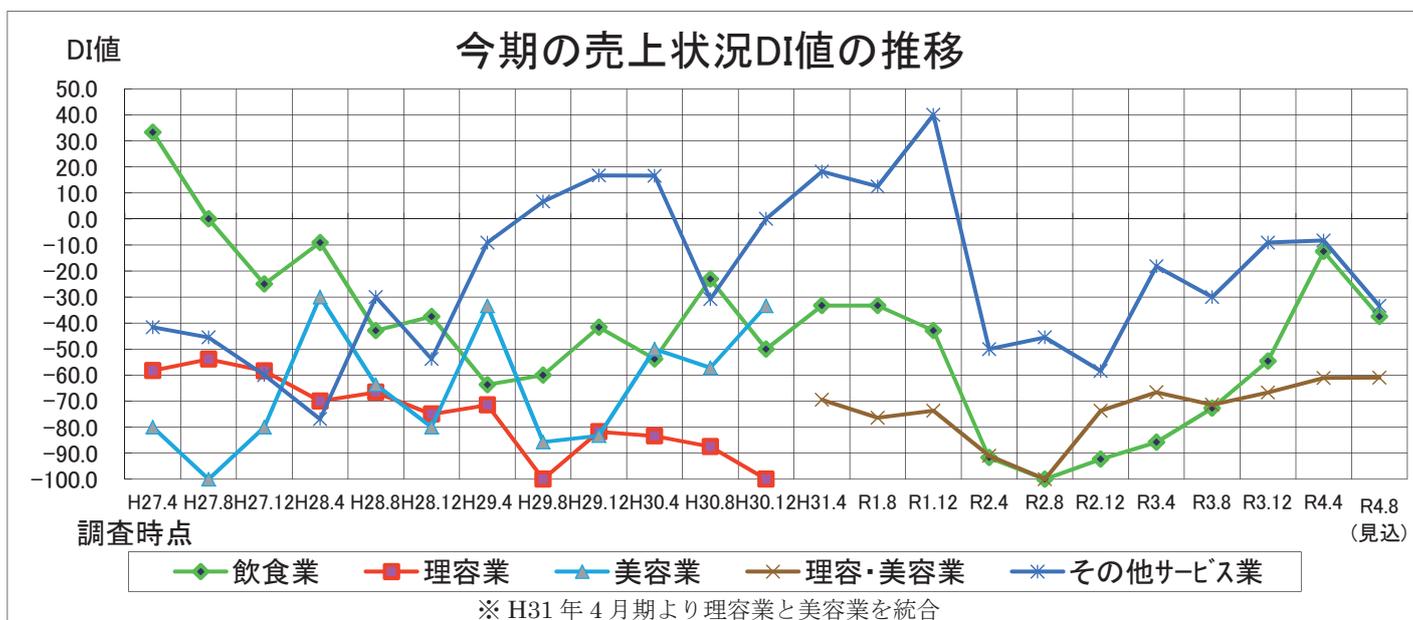
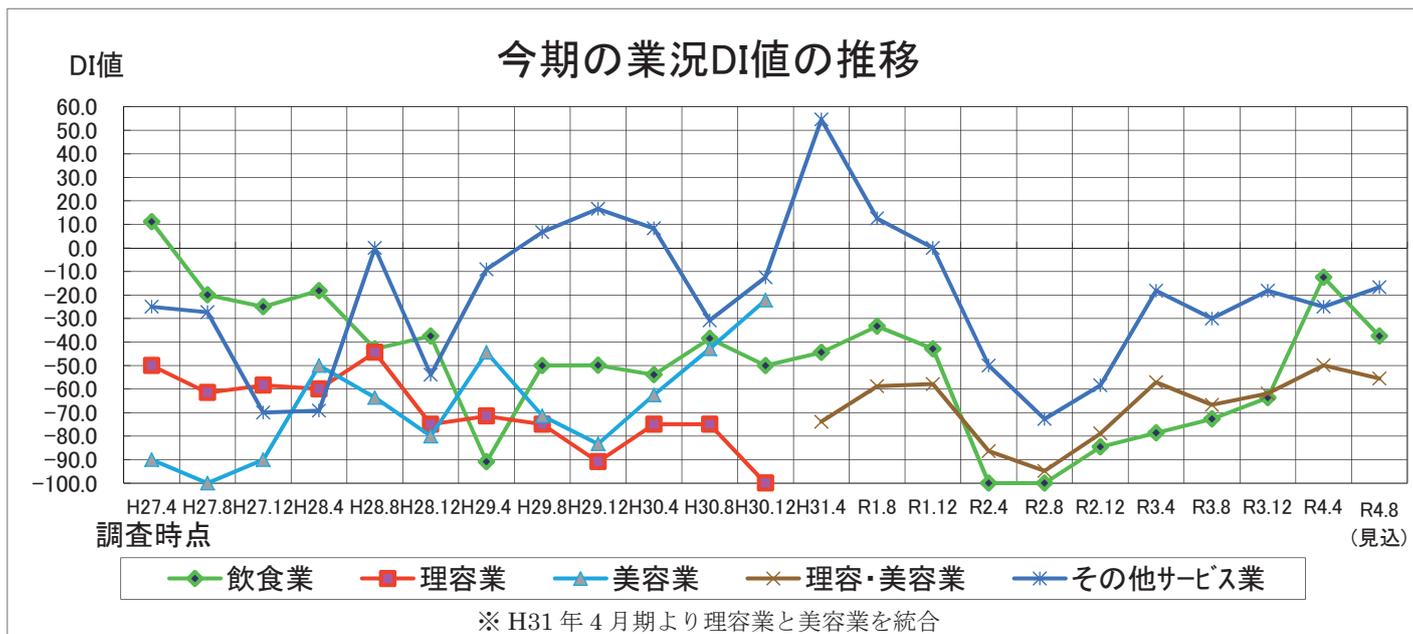
1. 製造業



2. 小売業



3. サービス業



4. 建設業

